

社会学習指導案(本次案) 5 学年

単元名『寒い土地の暮らし』

平成 30 年 8 月 31 日(金) 第 4 校時
 授業会場 5 年東組教室
 5 年東組 男子 16 名 女子 16 名 計 32 名
 指導教官
 授業者

- 1 本時の位置 (全 4 時間扱い中の第 2 時)
 前時: 北海道の気候の特色や暮らしの工夫を理解する。
 次時: 寒い気候を産業に活かす人々の工夫や努力について考える。

2 本時の主眼

寒い土地の暮らしや工夫を学習した子どもたちが、北海道十勝地方の農業の特徴を探る場面で、気候や土地、育てる作物などに注目して、地図帳を用いて調べたり議論したことを発表したりすることを通して、十勝地方特有の気候や土地を生かした農業がおこなわれていることに気づくことができる。

3 指導上の留意点

・スムーズな授業進行のため、授業前にパソコンとプロジェクターの接続確認とテストをしておく。

4 本時の展開

階	学習活動	予想される児童の反応	欄	指導・援助と評価
導	1. 前次の内容を思い出せるよう、写真と雨温図を用いて、復習と確認をする	<ul style="list-style-type: none"> ・「すずしいよね」 ・「北海道行きたい」 ・「一年中すずしい」 ・「二重窓とかあったね」 ・「屋根がめっちゃ傾いてるよね」 	4	○前時を振り返りやすいよう教科書の雨温図や住まいの工夫の図を用いたり、子どもから出た意見を基に説明したりして分かりやすいようにする。
	2. 北海道十勝地方の農業への関心興味を高めるため、北海道と長野県の景色(畑の様子)の写真を見せる。	<p>学習問題 北海道十勝地方の農業の特徴を探ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キレイ～」 ・「平らだ」 ・「地平線見えそう」 ・「山がないね」 ・「色が違うね」 ・「山がきれい」 ・「段々畑だ」 	6	○プロジェクターを用いて提示し、子どもの発言やつぶやきを拾いながら、次につなげられるような声掛けをしていく。 ○「さっきの北海道と比べてどうかな」や「北海道と長野県どっちに住みたいかな」など、比較がしやすいように声掛けをした。
展	3. 自分自身で写真の違いから北海道の農業を考える時間を取ったうえで、近くの人と話し合い考えを深める時間を取る。	<p>学習課題 十勝地方の気候や土地、育てる作物などに注目すれば良さそうだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「作ってるものが違うんじゃない？」 ・「十勝は平らだけど長野は山がたくさんあるね」 ・「長野は家がたくさんあるけど、十勝はあまりない」 ・「長野は田んぼが多いのかな」 	15	○自分の意見・考えを持てるように、子どもたちの考えてるペースや進み具合を見ながら進めていく。 ○なかなか考え付かない子どものために、写真をスクリーンにランダムに映し続けたり、地図帳を勧めたり、「長野県は山がたくさんあるけど十勝地方はどうだろう」と声掛けをしたりなどの支援をしていく。
	4. 気づいたことや考えたこと、不思議に思ったことを発表しあい、地図帳などを用いて確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳見ると十勝平野のところは畑が多いね。」 ・「長野はたしかに山が多い」 ・「松本にも畑あるところあるよ」 ・「同じ記号があるところがあるね」 ・「輪作してる」 ・「北海道以外でもしてるよ」 ・「北海道で有名なモノ知ってる」 ・「牛乳とかバターとかじゃがいもとか知ってる」 	10	○子どもたちの意見を気づいたこと分かったことと、疑問や不思議に思ったこととに分けて板書するなど見やすいようにする。 ○地図帳を確認するときはP7の畑の色や地図中の図に注目できるように説明しながら進める。
開	5. 輪作を取り上げ、説明するとともに、十勝地方含む北海道の農業シェアについて触れる。		7	○写真にも輪作の様子が現れていることに気づけるように説明する。 ○農業シェアについて、クイズ形式に一部しながら確認していき、興味を持てるようにする。
	6. 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「他の地域はどうなんだろう。」 ・「北海道行ってみたい」 	3	○子どもが分かりやすいように今までの言葉を用いるなどして説明をする。
末				<p>評価: 十勝地方特有の気候や土地を生かした農業がおこなわれていることに気づくことができる。ワークシート、振り返り、発言、つぶやきなどから。</p>